



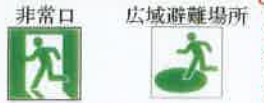
富山国際人材交流センター協同組合

TIMPEA★NEWS

vol. 15

発行：富山国際人材交流センター（協）
〒939-8261 富山市太郎丸本町1-7-6
TEL 076-423-5370 FAX 076-423-5368
E-mail : timpea@biscuit.ocn.ne.jp
URL : http://www5.ocn.ne.jp/~timpea/
《営業時間のご案内》
9：00～17：00（祝祭日を除く平日）

“防災注意・避難訓練”を実施しました



今年1月～2月にかけ、実習生への「寮での防災注意と避難訓練」をご希望のあった3社で実施しました。

内容

① 地震発生の際の注意点 身の安全の確保

火元の確認(元栓を閉める)
テレビなどで情報を確認…



まず、倒れそうな家具や落ちてきそうなものから離れ、机の下に入り、机の脚を支えました。机などが無い場合は、上着やカバンなどを頭に当て、“頭”を守ることが大切です！

大きな地震なら、余震に備え、扉や窓を少し開けておくことも重要です。

外へ避難する場合は、広い場所へ。



② 火災予防及び発生の際の注意点 周りに周知

可能な状況なら初期消火
通報…

大きな声で「火事だー」と、周りに知らせ、119番へ通報。
(住所がしっかり伝わったか不安な場合は、電話をつながったままにしておくこと！)



消火器は、周りにまくだけでも火災拡散の抑制になります。鍋の油に引火した場合は、蓋を閉めるのも有効。油やコンセントの発火に水をかけるのは厳禁です！



油污れのある台所は引火しやすいので、掃除しておくことも大切です。

初期消火はあくまでも可能なら。大火になっていたら、急いで避難！



③ 避難訓練

火災時、一番怖いのは“煙”
(一酸化炭素中毒)

煙は上に行くので、避難する時は、布などで鼻と口をおおい、姿勢を低くして逃げる。

とにかく“煙”を
直接吸い込まないように！

煙を吸い込んでしまうと、すぐそこに見えている出口へ逃げたくても、体が言う事を聞かず、動けない状態になります。



『住宅用火災警報器』や『消火器』の設置も確認しました。

実施企業の‘アンケート’より

- ★初めてのことで戸惑いも見られたが、実際に避難行動をしたことは実習生にとって有意義だったと思う。
- ★初期消火の重要性等、細かい説明があり良かった。
- ★災害はいつ起こるか分からないので、今後も定期的にも実施する必要があり、体感習得できるとよい。

真冬の一番寒い時期に行った訓練でしたが、実習生は真剣に取り組んでいました。今後もご要望がございましたら実施させていただきますので、ご連絡下さい。



～ 組合からのお知らせ ～

◆「組合日本語作文コンクール」の廃止と『スピーチコンテスト』の計画について



昨年まで「JITCO日本語作文コンクール」に合わせ、毎年春に組合でも「作文コンクール」を行ってきましたが、残念ながら、応募が非常に少ないのが現状です。

そこで理事会にて、文章での審査の意義等も含め再検討した結果、本年より組合での作文コンクールは実施しないことになりました。

すでにJITCOから直接案内が届いております「JITCO 日本語作文コンクール」については、もちろんご応募いただいで結構です。<「応募用紙」には、監理団体記入欄がありますので、一旦組合へご送付下さい。>

作文に代わり、今年組合では、

『スピーチコンテスト』の実施を検討しております。

理由としては、

- ①作文より実践的であること
- ②富山県外国人実習生受入れ団体協議会主催のスピーチコンテストが毎年秋に行われる予定であり、その前段階の位置づけとしたい ことのためです。

詳細につきましては、決まり次第ご案内いたします。

《中国語訳》

◆ 关于「组合作文比赛」的取消和「演讲比赛」的实施等相关规定

截至去年，每年春天组合都配合着「JITCO日本語作文比赛」进行「组合作文比赛」，不过非常遗憾，前年开始报名参加的人非常少。

鉴于上述情况，在理事会上就作文比赛进行再三讨论，决定从今年开始取消「组合作文比赛」的实施。

有关「JITCO 日本語作文比赛」，当然还可以参加报名。<报名表上需要组合填写的地方，请将参赛作品邮寄到组合。>

代替作文比赛，今年组合考虑进行 **「演讲比赛」**。原因如下、

- ①比起作文更加具有实践性。
- ②富山县外国人实习生接受团体协议会每年秋天都举行演讲比赛。作为这个比赛的先行准备。

详细情况，决定后将另行介绍。

◆ 組合からの『請求書』締め日の変更について

これまで毎月20日締め（一部10日締め）で送付していただきました請求書の締め日を、来年度より“月末”とさせていただきます。と思っています。

3月上旬に正式にご連絡させていただきます。



“旧正月” お祝い補助金 についてのご報告

今年も中国の春節（旧正月）に合わせ、実習生にお祝い金をお渡しした際には、企業ご担当者様にお手数をおかけいたしました。

ありがとうございました。

- 7割以上の企業が現金にてお渡し

（ポチ袋に入れてのお渡しも有）

- その他の企業ではお米・ビール等の購入や食事に

と、方法は様々ですが、有効にご活用いただきました。ご担当者より、

◇「お年玉みたいで中国の家族を思い出す」と日記に書き、喜んでいた実習生がいたことや、

◇「日々実習に励んでいる実習生の“やりがい”につながる」

とのご意見もいただきました。



*** 編集後記 ***

今年は本当に雪がたくさん降りましたね。組合でも‘ママさんダンブ’を購入し、いい汗をかきました。(^^)

ところで、昨年末に実施された『技能検定』を受検した実習生より、「先輩から、学科試験（〇×で回答する筆記問題）は、受検する実習生全員が事前に答えを決めておき、その通りに回答すれば合格する。」と聞いていたという、ビックリするようなことを聞きました。

もちろんそんなことはありません！

むしろ以前比べ、技能検定が厳格化しているように感じており、不合格になる場合が時々あります。

組合として、『技能検定』に臨む実習生への対応と、その重要性（再試験も不合格の場合は帰国）を、これまで以上にしっかり伝えていくことが必要だと改めて認識しました。